

平成 19 年度事業報告

平成 19 年度理事会では、ようやく学会独自の事務局体制に復帰し、事務局業務の正常化・円滑化がほぼ達成された。また、学会事務センターの問題以来、懸案となっていた会員データの確認・整理作業を行い、2007 年度版会員名簿を発行した。

学会活動としては、創立 60 周年記念事業（記念式典、シンポジウム、祝賀会）を第 61 回大会と共に開催した（国立京都国際会館）。日本栄養・食糧学会誌および JNSV 誌を定期的に刊行した。特に JNSV 誌は電子化が実施され、その情報発信機能が飛躍的に上昇した。学会刊行物として「栄養・食糧学用語辞典」が発行された。また、各支部では支部大会、シンポジウム等活発な活動が展開され、特に東北、中部、九州・沖縄の各支部では学会活動強化事業として活動が実施された。

国際的活動としては、IUNS, IUFoST, FANS 等の国際組織との連携と共に、韓国や台湾等のアジア諸国との交流促進がなされた。創立 60 周年記念式典には韓国食品栄養科学会、台湾栄養学会からの代表を招待した。また、10th Asian Congress of Nutrition (ACN) に会長が公式参加すると共に、理事会メンバーとなり、積極的な関与が開始された。

1) 会員の状況（平成 20 年 3 月 31 日現在）

名誉会員	30 名
終身会員	138 名
正会員	3,432 名
学生会員	691 名
団体会員	225 件
賛助会員	56 件（69 口）

2) 平成 19 年度物故会員（敬称略）

名誉会員	：新山喜昭、大磯敏雄
終身会員	：吉川誠次、上田隆史、松本博、難波三郎、日高敏郎、山木晃治、山本俊夫
正会員	：池田己喜子、土井佳代、森口覚、西川善之、加藤敏光、古池隆明
学生会員	：村松雄治

3) 支部別状況

会員種別 支部名	名誉会員	終身会員	正会員	学生会員	団体会員	賛助会員 [口数]
北海道支部	0 (± 0)	3 (- 2)	121 (- 2)	29 (+ 8)	9 (- 1)	1[1] (± 0)
東北支部	0 (± 0)	7 (+ 1)	185 (+ 7)	29 (+ 5)	12 (+ 1)	0[0] (± 0)
関東支部	15 (+ 2)	53 (- 7)	1298 (+ 51)	236 (+ 58)	98 (+ 1)	43[55] (- 1)
中部支部	5 (± 0)	12 (- 1)	417 (+ 23)	78 (+ 8)	27 (+ 1)	2[2] (± 0)
近畿支部	4 (± 0)	42 (- 5)	702 (+ 25)	151 (+ 38)	36 (- 1)	8[8] (± 0)
中国・四国支部	1 (- 1)	12 (- 1)	352 (- 5)	98 (+ 10)	28 (+ 1)	2[3] (± 0)
九州・沖縄支部	4 (± 0)	9 (- 2)	350 (+ 29)	70 (+ 6)	15 (± 0)	0[0] (± 0)
海外	1 (± 0)	0 (± 0)	7 (± 0)	0 (- 1)	0 (± 0)	0[0] (± 0)
合計	30 (+ 1)	138 (- 17)	3432 (+ 128)	691 (+ 132)	225 (+ 2)	56[69] (- 1)

()内は平成 18 年度会員に対する増減を示す。(平成 20 年度 3 月 31 日現在)

4) 学術集会・講演会などの開催

(1) 第61回日本栄養・食糧学会大会の開催(会頭 小川 正 関西福祉科学大学教授)

平成19年5月18日(金)~20日(日) 国立京都国際会館
特別講演 5題、シンポジウム 8テーマ、一般講演 712題
参加者数(登録者)2546名

(2) 創立60周年記念「市民フォーラム」

平成19年5月17日(木) アネックスホール(国立京都国際会館)

(3) 創立60周年記念式典・シンポジウム・祝賀会

平成19年5月18日(金) Room A(国立京都国際会館)

(4) 支部活動

北海道支部

・第37回 日本栄養・食糧学会北海道支部大会およびシンポジウム

(平成19年度 第2回合同学術講演会として、日本農芸化学会北海道支部、北海道農芸化学協会、日本土壌肥料学会北海道支部、日本生物工学会北日本支部、日本応用糖質学会北海道支部と共催)

平成19年11月10日(土)~11日(日) 東京農業大学オホーツクキャンパス

サブセッション「酪農王国 北海道の牛乳の科学」 世話人 島崎敬一 (北海道大学)
牛乳の科学を理解するための基礎 島崎敬一 (北海道大学)
栄養学からみた牛乳・乳製品 石井智美 (酪農学園大学)
牧場から食卓まで：牛乳・乳製品製造の実際とその科学 元島英雄 (よつ葉乳業)
シンポジウム「これからの生物産業を考える」 オーガナイザー 荒川義人 (天使大学)
オホーツク地域におけるわさびの栽培とおいしい製品作り 大野吉孝 (金印わさび)
生物産業の未来といわゆる“食育”のかかわり 荒川義人 (天使大学)
オホーツク圏の植物資源を活用した商品化 岸 喬 (北見工業大学)
エゾシカの有効利用に関する研究 増子孝義 (東京農業大学)
エゾシカの素ジカ供給、増体成績および肉成分 相馬幸作 (東京農業大学)

エゾシカ肉の加工特性と商品開発

関川三男 (帯広畜産大学)
岡本匡代 (釧路短期大学)
抜山嘉友 (北海道立オホーツク圏地域食品加工技術センター)

日本ではエミュ - は新規畜産業になりえるか(東京農業大学バイオインダストリーの取り組みを例として)
渡部俊弘 (東京農業大学)

特別講演 ポツリヌス毒素の機能とそのサブユニット構造 大山 徹 (東京農業大学)
グリーンバイオプロセスによる寒冷地バイオ資源の有効利用

堀内淳一 (北見工業大学)

一般講演 37題

東北支部

・第41回 日本栄養・食糧学会東北支部大会およびシンポジウム 《学会活動強化費補助事業》

平成19年10月13日(土) 秋田県生涯学習センター分館 ジョイナス

公開シンポジウム「食品成分の生理機能とメタボリックシンドローム予防」

Lupane型トリテルペンの生理機能 畠 恵司 (秋田県農林水産技術センター総合食品研究所)

糖尿病治療と食事療法 成田琢磨 (秋田大学)

ゴマリグナンの脂質代謝調節機能 井出 隆 (農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所)

一般講演 10題

関東支部

・第 80 回日本栄養・食糧学会関東支部大会

平成 19 年 10 月 27 日(土) お茶の水女子大学 大学本館 3 階 306 号室

シンポジウム「 - 食品機能、細胞機能の新しい分析法 - ゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクス、バイオインフォマティクス」

DNA マイクロアレイを用いた口腔癌の個別診断	中城公一 (愛媛大学大学院)
プロテオミクスによる老化の研究	中村 愛 (東京都老人総合研究所)
メタボローム解析の脂質生理機能及び関連病態解析への応用	田口 良 (東京大学大学院)
遺伝子の働きの理解に向けたバイオインフォマティクスの活用	瀬々 潤 (お茶の水女子大学大学院)

・第 11 回脂質栄養シンポジウム

平成 20 年 1 月 26 日(土) 科学技術館サイエンスホール

シンポジウム「おいしさと健康を考える」

セッション 1

うまみの本質を探る	鳥居邦夫 (味の素株式会社)
おいしさに対する匂いの役割	下田満哉 (九州大学)
特別講演「おいしいとなぜ食べ過ぎてしまうのか?」 - 脳内報酬系の働き -	山本 隆 (大阪大学)

セッション 2

肥満の心理学 - ヒトはなぜ食べ過ぎるのか -	今田純雄 (広島修道大学)
意識障害者に対する経口摂取の意義	紙屋克子 (筑波大学)

・第 81 回日本栄養・食糧学会関東支部総会および大会シンポジウム

平成 20 年 2 月 23 日(土) 日本獣医生命科学大学第一校舎 B-311

シンポジウム「食品の嗜好性、栄養生理機能、食環境 - 食行動を決めるもの -」

チーズの嗜好性と食行動	阿久澤良造 (日本獣医生命科学大学)
食肉の嗜好性と食行動	松石昌典 (日本獣医生命科学大学)
ヤーコンの機能性成分と嗜好	奈良井朝子・麻生慶一 (日本獣医生命科学大学)
鰹だしの疲労改善効果とそのメカニズム	黒田素央 (味の素株式会社)
ビールの嗜好性とその変化	山下 博 (アサヒビール株式会社)
食行動と環境との複雑なかかわり - 食生態学から	足立己幸 (名古屋学芸大学大学院)

中部支部

・第 53 回日本栄養・食糧学会中部支部大会

平成 19 年 7 月 14 日(土) 静岡大学共通教育 A 棟 301 教室

シンポジウム「消化管をめぐる最近の話題」

腸上皮細胞による膜小胞マーカー分子(MFG-E8)の分泌とその意義	松田 幹 (名古屋大学)
食物アレルギーの増悪因子としての常在真菌 <i>Candida albicans</i> と食餌によるその制限	園山 慶 (北海道大学)
粘膜表面のペイウォッチャー・M 細胞による病原体認識メカニズム	長谷耕二 (理化学研究所)
難消化食品成分としてのレジスタントスターチの位置づけと役割	早川享志 (岐阜大学)

・第 54 回日本栄養・食糧学会中部支部大会 《学会活動強化費補助事業》

平成 19 年 12 月 8 日(土) 静岡大学共通教育 A 棟 301 教室

シンポジウム「タンパク質・アミノ酸の栄養と生理作用」

アミノ酸の栄養生理・食理作用	矢ヶ崎一三 (東京農工大大学院)
タンパク質要求量の変化と生体応答	金本龍平 (京都府立大学)
食餌タンパク質の質的影響による尿素合成	早瀬和利 (愛知教育大学)
タンパク質・ペプチドによるコレステロール代謝改善作用	長岡 利 (岐阜大学)

近畿支部、中国・四国支部

・平成 19 年 日本栄養・食糧学会中四国・近畿支部合同大会

(第 40 回記念中四国支部大会・第 46 回近畿支部大会)

平成 19 年 11 月 17 日(土) ~ 18 日(日) 広島大学大学院生物圏科学研究科 (生物生産学部)

シンポジウム

アレルギーの最新知見およびその実験的抑制方策	田辺創一 (広島大学)、坂井堅太郎 (広島女子学院大学)
フードファクター研究の新展開	松原主典 (広島大学)、水品善之 (神戸学院大学)
食べもののおいしさを科学する	西村敏英 (広島大学)、伏木 亨 (京都大学)

一般講演 80 題

九州・沖縄支部

・市民公開講演会「食環境と健康長寿フロンティア」《学会活動強化費補助事業》

平成 19 年 4 月 14 日(土) 佐賀大学理工学部 6 号館 1 階

1. 食とメタボリックシンドロームのフロンティア 柳田晃良 (佐賀大学)
2. 低分子ペプチド高血圧予防作用? 分かったこと、分からないこと
松井利郎 (九州大学大学院)
3. 生活習慣病のオーダーメイド予防 - 久山町研究 - 秦 淳、清原 裕 (九州大学大学院)
4. Molecular biological approaches to control foodborne pathogenic bacteria
Sang Ho Choi (Soul National University)
5. Function Foods and Prevention of Chronic Diseases
Yung-Sheng Huang (Yuanpei University)

・平成 19 年度 日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会

平成 19 年 9 月 28 日(金)~29 日(土) 尚絅大学 九品寺キャンパス 九品寺 1 号館

公開講演「健康長寿の栄養・食べ物」

- 演題-1 健康長寿を手に入れるには 渡邊 昌 (国立健康栄養研究所)
- 演題-2 メタボリック症候群の治療アプローチ - 循環器から代謝まで
榊田典治 (熊本県立大学)
- 演題-3 新しい酸化ストレス測定法の開発と機能性食品評価への応用
佐藤圭創 (熊本大学)

一般講演 56 題

5) 学会誌その他刊行物の発行

(1) 日本栄養・食糧学会誌 60巻2号～6号、61巻1号の刊行

2006年度 投稿論文 33編

採択率 59% (取り下げ除く)

掲載可	17編	掲載否	12編
取り下げ	4編	審査中	0編

2007年度 投稿論文 32編

掲載可	5編	掲載否	11編
取り下げ	4編	審査中	12編

発行状況

	総説	報文	ノート	資料	動向	書評	論壇	計
60 - 2	0	2	0	0	0	1	0	3
60 - 3	0	1	0	0	0	0	3	4
60 - 4	0	2	2	0	0	0	0	4
60 - 5	0	3	1	0	0	1	0	5
60 - 6	0	0	0	0	0	0	0	0
61 - 1	2	1	0	0	0	0	0	3
総計	2	9	3	0	0	2	3	19

(60 - 6 は学会 60 周年記念特集号)

刊行状況

	納本日	予定日
60 - 2	4月11日	4月10日
60 - 3	6月14日	6月10日
60 - 4	8月9日	8月10日
60 - 5	10月12日	10月10日
60 - 6	1月7日	12月10日
61 - 1	2月18日	2月10日

日本栄養・食糧学会誌編集委員会の開催 (メール会議を含む) 6回

(2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)

日本ビタミン学会との共同編集 Vol.53 - No.2～No.6、Vol.54 - No.1の刊行

JNSV誌掲載論文をオンライン化し学会ホームページ上に掲載、ならびに過去の論文の順次オンライン化作業を進行。

(3) 学会監修出版物

「栄養・食糧学用語辞典」	編集委員長 藤本健四郎	建帛社
「栄養学研究の最前線」	小川 正、河田照雄、寺尾純二	建帛社
「肥満と脂肪エネルギー代謝：メタボリックシンドロームへの戦略」	河田照雄、斎藤昌之、小川 正	建帛社

(4) 名簿の発行

6) 研究業績の表彰および研究の奨励

- (1) 平成 19 年度受賞者
 - 功労賞 (佐伯賞) 清野 裕、藤本健四郎
 - 学会賞 海老原清、齋藤衛郎、矢ヶ崎一三
 - 奨励賞 西村直道

- (2) 平成 19 年度栄養・食糧学基金研究助成授与
 - 栄養・食糧学学術基金研究助成 薩 秀夫、森山三千江
 - 栄養・食糧学特定研究基金研究助成 堀 光代

7) 研究活動の奨励

- (1) コレステロール研究会
- (2) 栄養学若手研究者の集い
- (3) スポーツ栄養学研究会
- (4) 若手研究者養成ワークショップ
- (5) ネスレ栄養科学会議シンポジウム
- (6) “国際栄養”を考える会
- (7) 食品素材機能研究者懇話会
- (8) Hindgut Club Japan
- (9) 栄養士のための栄養士による「栄養情報 NET 勉強会」
- (10) 第 1 回カルノシン・アンセリン研究会

8) 文部科学省との連絡

平成 20 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞および若手科学者賞候補者の推薦

9) 国内学術団体との連絡および協力

- (1) 日本学術会議
 - 日本学術会議発行メールニュースの周知
 - 生活コンソーシアムへの助成

- (2) 日本医学会
 - 第 75 回日本医学会定例評議員会 (平成 20 年 2 月 22 日) への出席
 - 日本医学会・医学用語委員会への協力
 - シンポジウム等周知協力

- (3) 独立法人大学評価・学位授与機構
 - 国立大学教育研究技術評価委員会専門委員候補者の推薦

- (4) その他の団体との共催、協賛、後援 (平成 20 年 3 月末日までの承認)
 - (社) 日本油化学会「第 46 回日本油化学会年会」の協賛
 - ダノン健康・栄養普及協会「第 9 回ダノン健康・栄養フォーラム」の後援
 - (財) 不二たん白質研究振興財団公開講演会「大豆のはたらき - これからの食生活を考える - 」の協賛
 - 国際生命科学研究機構「第 5 回栄養とエイジング」の後援
 - 日本食品機械研究会「第 5 回高付加価値食品開発のためのフォーラム」の協賛
 - 日本香辛料研究会「第 22 回学術講演会」の協賛
 - 第 3 回国際 O-CHA 学術会議組織委員会「第 3 回 O-CHA 学術会議」の後援
 - 日本油化学会 関東支部「市民講座 平成 19 年度 油化学セミナー in 酒田 油脂の美味しさと健康」の協賛
 - (社) 米穀安定供給確保支援機構「平成 19 年度食育健康サミット」の後援
 - (社) 日本油化学会「第 7 回基準油脂分析試験法セミナー」の協賛
 - 日本フードファクター学会、徳島大学 21 世紀 COE プログラム「第 3 回ポリフェノールと健康に関する国際会議」の後援
 - 日本糖質学会「第 28 回日本糖質学会年会」の共催
 - (社) 日本油化学会関東支部「平成 20 年度第 1 回油化学セミナー」の協賛
 - (社) 日本油化学会オレオライフサイエンス部会「第 3 回オレオライフサイエンス部会セミナー 機能性油脂のフロティア - 2008」の協賛
 - 日本化学会「2010 環太平洋国際化学会議」の後援
 - 「第 22 回キッチン・キトサンシンポジウム」の協賛

(5) 研究褒賞等の周知

- | | |
|----------------------|-------------------|
| (財)安藤スポーツ・食文化振興財団 | (財)飯島記念食品科学振興財団 |
| (財)上原記念生命科学財団 | (財)旗影会 |
| (財)木原記念横浜生命科学財団 | 公益信託家政学研究助成基金 |
| (財)材料科学技術振興財団 | 全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会 |
| (財)ソルト・サイエンス研究財団 | (財)タカノ農芸化学研究助成財団 |
| 内閣府「第1回野口英世アフリカ賞の推薦」 | (財)内藤記念科学振興財団 |
| (財)日本科学協会 | 日本学術振興会「日中医学交流事業」 |
| (社)日本看護協会 | (財)日本食品化学研究振興財団 |
| (財)日本農業研究所 | ネスレ栄養科学会議 |
| (財)不二たん白質研究振興財団 | (社)米穀安定供給確保支援機構 |
| みつばち健康科学研究所 | 森喜作記念椎茸振興会 |
| (財)森永奉仕会 | |

10) 国際学術団体への協力

- (1) 英文ホームページを作成
- (2) 韓国食品栄養科学会 (Korean Society of Food Science and Nutrition、KFN) から講演依頼があり、佐藤隆一郎氏 (東京大学)、佐伯茂氏 (大阪市立大学) の 2 名を推薦した。
- (3) International Union of Nutritional Sciences (IUNS)
IUNS を中心とした国際交流のための活動窓口として、日本学術会議に IUNS 分科会 (清水誠委員長) が設置され、本会はその活動を支援することとした。
- (4) International Union of Food Science and Technology (IUFoST)
第 7 回 IUFoST Japan 公開シンポジウム「世界における地域伝統食品の継承から機能性食品への展開」を支援した。
- (5) Federation of Asian Nutrition Societies (FANS)
本会は FANS との活動窓口になり主体的な取り組みを進めた。
第 10 回アジア栄養会議 (ACN、2007 年 9 月 9 日 ~ 13 日、台北市) に本会から約 230 名が参加した。
第 11 回アジア栄養会議 (2011 年) の開催地はシンガポールに決定した。

11) 総会、理事会、評議員会等の開催状況

(1) 総会

平成 19 年 5 月 18 日 (金) 10:00 ~ 10:50 国立京都国際会館 (Room A)

(2) 評議員会

平成 19 年 5 月 18 日 (金) 9:10 ~ 10:00 国立京都国際会館 (Room A)

(3) 理事会

平成 19 年 5 月 17 日 (木) 16:00 ~ 18:00 白河院 (京都市)
平成 19 年 7 月 21 日 (土) 13:00 ~ 17:00 お茶の水女子大学
平成 19 年 10 月 20 日 (土) 13:00 ~ 17:00 お茶の水女子大学
平成 20 年 1 月 12 日 (土) 13:00 ~ 17:00 お茶の水女子大学
平成 20 年 3 月 8 日 (土) 13:00 ~ 17:00 お茶の水女子大学

(4) 次期評議員参与候補者の選出

(5) 次期理事候補者の選出

(6) 次期会長・副会長候補者選出委員会

平成 20 年 2 月 9 日 (土) 14:00 ~ 16:00 お茶の水女子大学
平成 20 年 3 月 8 日 (土) 12:00 ~ 13:00 お茶の水女子大学

(7) 新理事候補連絡会

平成 20 年 4 月 5 日 (土) 13:30 ~ 17:00 お茶の水女子大学

(8) 役職理事会

平成 19 年 4 月 14 日 (土) 13:00 ~ 16:00 学会事務所
平成 19 年 4 月 28 日 (土) 12:30 ~ 17:30 学会事務所
平成 19 年 5 月 13 日 (日) 13:00 ~ 17:00 学会事務所
平成 19 年 6 月 23 日 (土) 12:30 ~ 17:30 お茶の水女子大学
平成 19 年 7 月 19 日 (木) 13:00 ~ 17:00 学会事務所
平成 19 年 9 月 22 日 (土) 12:00 ~ 17:00 学会事務所
平成 19 年 10 月 16 日 (火) 18:00 ~ 21:00 学会事務所
平成 19 年 12 月 13 日 (木) 18:00 ~ 20:00 学会事務所
平成 20 年 1 月 5 日 (土) 12:00 ~ 17:00 学会事務所
平成 20 年 2 月 15 日 (金) 18:30 ~ 21:30 学会事務所
平成 20 年 3 月 1 日 (土) 12:00 ~ 17:00 学会事務所

(9) 顧問・名誉会員懇談会

平成 19 年 4 月 7 日 (土) 12:00 ~ 14:00 女子栄養大学

12) 委員会活動

(1) 各種授賞等選考委員会 平成 19 年 5 月 18 日、平成 19 年 12 月 8 日

(2) 功労賞選考委員会 平成 19 年 12 月 8 日、平成 20 年 1 月 5 日

(3) 学会活動強化委員会 メール会議

学会活動強化費 (東北、中部、九州・沖縄の各支部から申請) による学術企画の支援。会員増・若手活動強化費 (東北支部より申請) による企画支援。栄養・食糧学基金研究助成の予備審査。

(4) 倫理委員会 倫理審査申請 2 件 (書面審査) メール会議

(5) 広報委員会

第 61 回日本栄養・食糧学会大会記者会見 平成 19 年 5 月 2 日 京都
ホームページ (URL <http://eishoku.umin.ne.jp/>) の充実
アミノ酸データベースの改善
英文ホームページの作成
Eishoku News 平均月 1 回

(6) 国際交流委員会 平成 19 年 8 月 23 日、平成 20 年 2 月 16 日

(7) 名誉会員・終身会員推薦委員会 平成 20 年 1 月 5 日

(8) 各種検討会

・用語委員会 メール会議
・栄養成分表示・栄養教育検討委員会 平成 19 年 8 月 1 日、平成 19 年 11 月 5 日

13) 60周年記念事業

(1) 日本栄養・食糧学会創立60周年記念式典

・平成19年5月17日(木)13:00~17:00 国立京都国際会館(アネックスホール)
市民フォーラム「おこしやす 長寿の秘密の世界へ」

はじめに

日本の食事情~飢餓、飽食、そして食の倫理
世界の食生活と長寿~世界の長寿、日本の長寿
食品の機能と健康~その現状を眺め未来を想う
食の安全と安心~リスクの管理とリスクの認知
食文化の伝承と食嗜好~日本料理の味
おわりに

司会:小川 博
座長:柴田 克己、村田 容常
本間 清一(日本栄養・食糧学会会長)
安本 教博
家森 幸男
荒井 綜一
新山 陽子
的場 輝佳
小川 正 (第61回大会会長)

・平成19年5月18日(金)14:20~18:40 国立京都国際会館(アネックスホール)
記念式典

開会の辞

基調講演「日本栄養・食糧学会の歩み」

来賓挨拶

来賓挨拶

日本農芸化学会・日本臨床栄養学会 祝辞

シンポジウム「栄養・食糧学研究的過去、現在、未来」

農学基盤からの栄養・食糧学への期待

タンパク質代謝研究の発展

糖尿病・メタボリックシンドロームのメカニズムと治療・予防戦略-栄養学研究的視点から-

ボーダーのない栄養学の時代:食が足りた人間に対する栄養学の新しい使命

食品機能性研究とFood Chemical Biology

パネルディスカッション

閉会の辞

久保田 紀久枝
座長:宮澤 陽夫
本間 清一(日本栄養・食糧学会会長)
Ching-Jang Huang(台湾栄養学会会長)
Oh Man Jin(韓国栄養食糧学会会長)
磯貝 彰、板倉 弘重
司会:久保田紀久枝
座長:田中 平三、五十嵐 脩
菅野 道廣
野口 忠
門脇 孝
伏木 亨
清水 誠
小川 博

・平成19年5月18日(金)18:40~ 国立京都国際会館(アネックスホール)
60周年記念祝賀会・第61回大会懇親会

司会:中野 長久